



中 川 中  
の よ  
り  
荒 だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」  
目指す学校像：「あいさつ がまん あとしまつ ができる生徒」

村上市立荒川中学校  
令和4年度第2号  
令和4年5月12日発行

## 中学生を思う心、期待に応える地域貢献

校長 渡辺 安治

野山にさわやかな風が吹き渡り、心地よい季節となりました。学校生活ではコロナ感染症対策を継続しながら、生徒たちは頑張っています。クロームブックを活用した授業では、自ら調べたり仲間と意見を交流させたりしながら、深く学べるように取り組んでいます。各学年、学年朝会もスタートしました。学年委員の抱負発表では、どの学年からも「お互いが、温かい雰囲気生活できる学年にしたい」という願いがありました。一人一人が他の仲間のよさを認め、みんなで安全に安心して過ごせる学年、学校を作り上げて欲しいです。私たち職員も頑張ります。

先月、地域連携活動でお世話になっている「あらかわ地区まちづくり協議会」の総会を見学させていただきました。絆で結ばれ 自然と共に生きるまち あらかわ」と表記された議案書に沿って審議されました。理事長の江端栄作様からご挨拶があり、役員の方々から丁寧な説明がありました。三部会（事業部会、支援・情報部会、育成部会）より昨年度の事業報告がありました。その中で私たちの荒川中学校と連携しての取組「あらかわチャレンジ」などが紹介されました。花いっぱい運動のラベンダー畑づくり、当校への出前授業、スイーツプロジェクト等で生徒たちが地域の方々と活

動する様子が、プレゼンテーションでスクリーンに生き生きと映し出されました。地域の方々が生徒の成長に期待していることをありがたく思いました。

四月二十九日には恒例となっている「清流」荒川を考える流域ワークショップ主催事業「荒川クリーン作戦」に全校生徒で参加しました。豊かな自然を楽しみながら、荒川沿いの堤防付近を清掃する活動はとても気持ちよかったです。「地域行事に参加することは地域貢献です。地域の人は荒川生徒に期待しています。」と学校での出発式で生徒に語りました。保内小学校・金屋小学校での体験活動や当校の地域の自然、温かな人々とのつながりを生かした創造的な活動は、生徒が大人になっても心の拠り所になると確信しています。

村上市内でもコロナ感染症の発症が継続しています。部活動の対外試合は参加校数を絞り、冠大会などは主催者の感染対策を確認するなど、参加を前提に検討しています。感染症が収束することを願い、授業・生徒会活動・部活動等に真剣に取り組むなど、生徒も「今できること」をしっかりと行っています。地域の皆様、保護者の皆様には、大変お世話になります。今後ともどうぞよろしく願います。